

30%プレミアム付商品券 が発行されます!!

多子世帯にも支援!!

※世帯に18歳未満3子目から1人7,000円の商品券
が発行されます。(7ページ参照)

3月定例議会は、3月3日から3月22日までの18日間の会期で開かれ、町長から提出された25議案は全て原案どおり可決されました。議員提出議案は2件提出されましたが、1件は可決され残り1件は否決されました。また、一般質問では、8人の議員が町政に対し質問しました。

補正予算

◆平成26年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ74
77万7千円を追加し、
総額117億447万5
千円とした。

〈歳入〉

国庫支出金・県支出金・
繰入金・町債の補正

〈歳出〉

総務費・民生費・衛生
費・農林水産業費・商工
費の補正

〈全員賛成〉

人 事

◆副町長の選任に同意



副町長の福田哲也氏が
平成27年3月31日付で退
職のため、後任として島
田繁氏を選任することに
同意した。

〈全員賛成〉

条 例

◆伊奈町立保育所設置及
び管理条例の一部を改正
する条例

子ども・子育て支援法
の公布及び児童福祉法が
改正されたため、保育時
間の拡充など所要の改正
をする。

〈全員賛成〉

◆伊奈町公益的法人等へ
の職員の派遣等に関する
条例の一部を改正する条
例

職員を派遣できる公益

的法人等に公益社団法人
伊奈町シルバー人材セン
ターを加えた。

〈全員賛成〉

◆伊奈町指定介護予防支
援等の事業の人員及び運
営並びに指定介護予防支
援等に係る介護予防の方
法の効果的な支援の方法
に関する基準等を定める
条例

地域の自主制、自立制
を高めるための関係法律
の整備に関する法律によ
り介護保険法が改正され
たため、条例を制定した。

〈全員賛成〉



子育て支援法が改正され
保育時間が拡充されました



職員を派遣できる公益的法人に
シルバー人材センターが加わりました

〈3月定例議会〉議員ごとの賛否結果

○…賛成 ●…反対

議員名	上野	中原	毛塚	齋藤	奥田	上野	加藤	水上	大沢	佐藤	大谷	矢部	青木	村山	山本	結
議案名	尚徳	敦子	眞一	照夫	とみ子	克也	利明	邦雄	淳	弘一	保雄	松男	久男	正弘	重幸	果
平成27年度伊奈町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※	可決
平成27年度伊奈町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※	可決
平成27年度伊奈町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※	可決
平成27年度伊奈町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※	可決
伊奈町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※	可決
企業・団体からの政党本部・支部等に献金の禁止を求める意見書	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	※	否決

※議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

討 論

一般会計

賛成討論

青木久男

いな穂街道拡幅の工期を早めての全線完了や、子ども子育て支援、ふるさと創生事業もしっかり盛ってあり、さらに新総合振興計画にある将来の伊奈町像をも見渡している本予算を高く評価する。

反対討論

大沢 淳

国の地方財政計画では、一般財源で2%増を確保したが、町では逆に減額となっている。本来確保されている財源が不十分だ。認可保育所を希望して入所できない子どもが多数いる。

国民健康保険

賛成討論

上野克也

国民健康保険制度が劇的に変化する中、必要な経費を適切に計上している。また低所得者に配慮した軽減の拡充や、公平な税負担にも配慮し、加

入者に配慮した編成である。特定健診も受診率県内1位で当局の努力が見られる。

反対討論

水上邦雄

国による医療費抑制施策は患者負担増、給付削減と医師や入院病床など供給体制の抑制である。健康や疾病、経済的要因も影響する。貧困、格差、環境の改善、予防医療のさらなる充実が必要。

介護保険

賛成討論

奥田とみ子

平成27年度介護保険予算19億8651万3千円は前年度比5.3%の増。歳入は保険料9.7%増を見込むなど財源の確保に努め、保険料上昇の抑制に努めている。施設サービス給付費を前年比

10.6%増とし必要とされる今後の対応に期待する。

反対討論

水上邦雄

介護保険料15段階になる。住民税本人非課税で

も5万2200円の負担は重い。

要介護1と2は特養入れない。要支援1と2は地域支援事業になり、サービスの低下心配される。

後期高齢者医療特別会計

賛成討論

上野克也

この制度は高齢化社会を展望した新たな医療制度として、7年を経過し今では高齢者の医療保険制度として定着している。本予算は制度に基づくものであり、高齢者の方が安心してサービスを受けることができる。

反対討論

大沢 淳

高齢者を別枠の医療保険に強制的に囲い込んで負担増と差別医療を押しつける制度だ。保険料窓口負担の軽減制度など、町の高齢者の医療・福祉制度の充実が必要だ。